

■ 斎藤宣恵 (TLCCC 東京アンテオケ教会)

主の御名を賛美いたします。

2017年8月21日～8月24日の日程でカンボジアに宣教チームが遣わされ、今回私も恵みによってこのチームに参加させていただきました。チームでカンボジア孤児院を訪問し、子供たちとプールやボウリングで遊び、バーベキューをしたり、一緒に賛美したり、話をしたりなど、良き交わりの時を持つことができました。また、チーム期間中は天候が完全に守られ、プールとバーベキューの時は雨が降らず、ボウリングで屋内にいる時とチーム最終日には降ったりと、主の御手が完全であることを感じました。また、今回は初めてカンボジア孤児院で映像セミナーがもたれ、21世紀型の孤児院と主が語られた通りに、映像の働きの第一歩が踏み出されることとなりました。更に、チームメンバーの方が子供たちに作詞作曲の方法を教えたり、ギター、キーボードの弾き方を教える時が与えられ、神様が子供たちに置いておられるご計画の大きさを思わせられました。さて、今回私がどのようにカンボジアチームに導かれたかをお証しさせていただきます。今年の4月、読書をしていた時に「子供たちを助けることは神から与えられたチャンスです」という一文が心の内に飛び込んできました。それから聖書を読んでいる時、「みなしご」「あなたの幼子たち」といった言葉が語られるようになり、これはカンボジアチームに導かれているのではと思い、次にカンボジアチームが遣わされる時は加われるようにと祈り始めました。それからすぐにカンボジアチームの発表があり、確認のことばを神様に求めていきました。今回はすぐ行きたいという思いがあったので、「どうかことばをください。ことばがあれば行けます」と祈っていたのですが、ある日のデボーション箇所マタイ8章8～13節から、百人隊長がしもべのいやしのため、イエス様に「ただ、おことばをください」と懇願したのに対し、イエス様が「さあ行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」と答えられた箇所から確認を受けました。しかし、行って自分に何ができるのだろうか？という疑問があったのですが、エゼキエル書2章4節「わたしはあなたを彼らに遣わす。」このみことばが語られ、神様が遣わしてくださるから大丈夫、という確信と平安の内に行っていくことができました。孤児院の子供達はみんな暖かく迎え入れてくれ、子供たちと交わっている中で、私の心はいやされ、満たされていきました。今回こんなに子供たちに触れられるとは自分でも思っていなかったのですが、「礎の石」という名の実質の通り、孤児という見捨てられた石であった彼らが、多くの人々に希望を与える存在となっている、ということを実感しました。また今回は孤児院の卒業生であったP君の洗礼式もたれ、証しの中で「孤児院の外には様々な誘惑があった。いかに孤児院が守りであるかを知った」と語られていて、全てが神様の深い御手の中にあることを思わせられました。今回のチームに参加したことで、子供たちを助けたい。という思いが強く与えられ、カンボジアに行ったことで、自分がすべきことというのも見え始めて来ました。私にとって非常に実り多い派遣となりました。主に感謝いたします。



■木原祈り (TLCCC 東京アンテオケ教会)

主のみ名を賛美します！8/21~8/24までのカンボジアチームに参加してきました。お祈りを感謝します！4日間はあっという間で、とても祝福されました。1日目は東京からプノンペンへ移動、2日目はプール(午前)とボウリング(午後)、3日目はバーベキューというスケジュールでした。すべてのプログラムで、子どもたちは終始笑顔で楽しそうでした。

プールとバーベキューに関してですが、野外活動のため、雨が降ってしまうと実行できないプログラムでした。そのうえ、カンボジアは雨期の時期で、いつ雨が降ってもおかしくない状況でした。そこで、早天などの祈りのときに、天候のために皆でお祈りしていました。結果は、2日目のプールも3日目のバーベキューも完全に守られました。2日目に関しては、プール時に雨は降らず、午後のボウリングに移ると雨が降り始めました。このことで神様がプールのときに天候を守ってくださったことをより実感しました。天候という私たちではどうしようもないこともみんなで心をあわせて祈るとき、神様が働いてくださいました。感謝します！！

さて、私は今回のカンボジアチームが3度目の訪問となりました。子どもたちといるとき、いつも私は喜びで満たされています。神様の特別な愛が子どもたちを通して流れているのだと思いました。そんな子どもたちとの交わりの中で心に残ったことがいくつかあります。

まず、子どもたちとの賛美のときです。一緒に訪問した男の子がギターを弾いて、子どもたちが賛美をして、という時がありました。聖会以外でも、みんなと賛美する時をもてたことがとても嬉しかったです。さらに、賛美しているとき、いきなり強く気持ちいい風が吹いていきました。そのとき神様の臨在を感じ、さらに嬉しくなりました。

次に、みんなが名前を呼んでくれることです。子どもたちは「これ食べて！」「これ見て！」「これしよう！」など些細なことで「イノリ！イノリ！」と名前を呼んで話しかけてくれました。時には、用がなく名前だけ呼ばれたこともあります(笑)しかしどちらにせよ、名前を呼んで話しかけてもらえたことは、とてもとても嬉しかったです。そう考えたとき、神様も私たちが「神様」と名を呼んで、語りかけるとき(たとえその内容がどんなに些細なことでも)神様はとても喜ばれているのだなと、気づかされました。

今回のカンボジアチームも神様が最初から最後まで導かれ、祝福のうちに終わりました。再度になりますが、お祈りをありがとうございます！カンボジアチームの祝福が皆様に豊かに流れていきますように！！☆

